

令和5年度 事後評価シート

【事務事業シート（政策的経費）】

1

当初

事 項	松山城北特別支援学校（仮称）設置検討事業費										予算主管課		特別支援教育課	
事 業 概 要	みなら特別支援学校松山城北分校（松山聾学校敷地内。現：高等部のみ）を拡充し、中予北部の拠点として、小・中・高一貫の「知的障がい」特別支援学校開設に向けた検討を進める。										始期		R5	
											終期		R5	
K P I	計画策定進捗率													
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
	時点・期間	R5.2		時点・期間	R 5年度		時点・期間			時点・期間				
	現状値	— %		目標値	100 %		目標値	— %		目標値	— %			
				実績値	100 %		実績値	%		実績値	%			
				達成率	100.00 %		達成率	%		達成率	%			
コ ス ト			最終現計予算額	28,847 千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円				
			決算額	8,937 千円		決算額	千円		決算額	千円				

5

年度

要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）													
	総括（事業最終年度の場合、要記入。） 松山城北特別支援学校（仮称）の設置について検討し、ランドデザインの策定や松山聾学校寄宿舎外の耐力度調査の結果を踏まえ、食堂棟と寄宿舎棟の工事設計に着手した。松山城北特別支援学校（仮称）のランドデザインを策定することにより、キャリアデザイン科の新設や「おもてなしカフェ」の設置など、新学校の「めざす学校」を具体化し、学校の開設に向けた計画が進んだ。令和6年度以降は校舎等整備に向けて計画を進めていく。													
見直し方向性		見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））												

2

2月
補正
後

事 項	特別支援学校スクールバス感染防止対策事業費										予算主管課		特別支援教育課		
事 業 概 要	バス内での密集状態を緩和して新型コロナの感染リスクを低減するため、乗車率の高い特別支援学校のスクールバスを増便する。										始期		R2		
											終期				
K P I	スクールバス1台あたりの乗車率														
	KPI種別	下がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	時点・期間	R4.4		時点・期間	R5年度		時点・期間	R6年度		時点・期間	R7年度		時点・期間	R8年度	
	現状値	50 %		目標値	50 %		目標値	50 %		目標値	50 %		目標値	50 %	
				実績値	52 %		実績値	%		実績値	%		実績値	%	
				達成率	96.15 %		達成率	%		達成率	%		達成率	%	
コ ス ト			最終現計予算額	79,706 千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円		
			決算額	76,875 千円		決算額	千円		決算額	千円		決算額	千円		

5

年度

要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） ※終期短縮（なし→R5） 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、観光需要の高まり等による予約の増加や、バス業界の慢性的な運転手不足によりバス確保が困難となったことから、一部の便では、増便を断念せざるを得ない状況になったため未達成となった。													
	総括（事業最終年度の場合、要記入。） 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、観光需要の高まり等による予約の増加や、バス業界の慢性的な運転手不足によりバス確保が困難となったことから、一部の便では増便を断念せざるを得ない状況になったものの、バスを増便したことで、乗車人数の少人数化を図ることができ、児童生徒や保護者の感染症リスクに対する不安軽減につながった。令和6年度以降は、これまでの感染症対策を継続し、感染拡大防止に努めていく。													
見直し方向性		見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））												

